

創薬支援ネットワーク関連 平成31年度予算

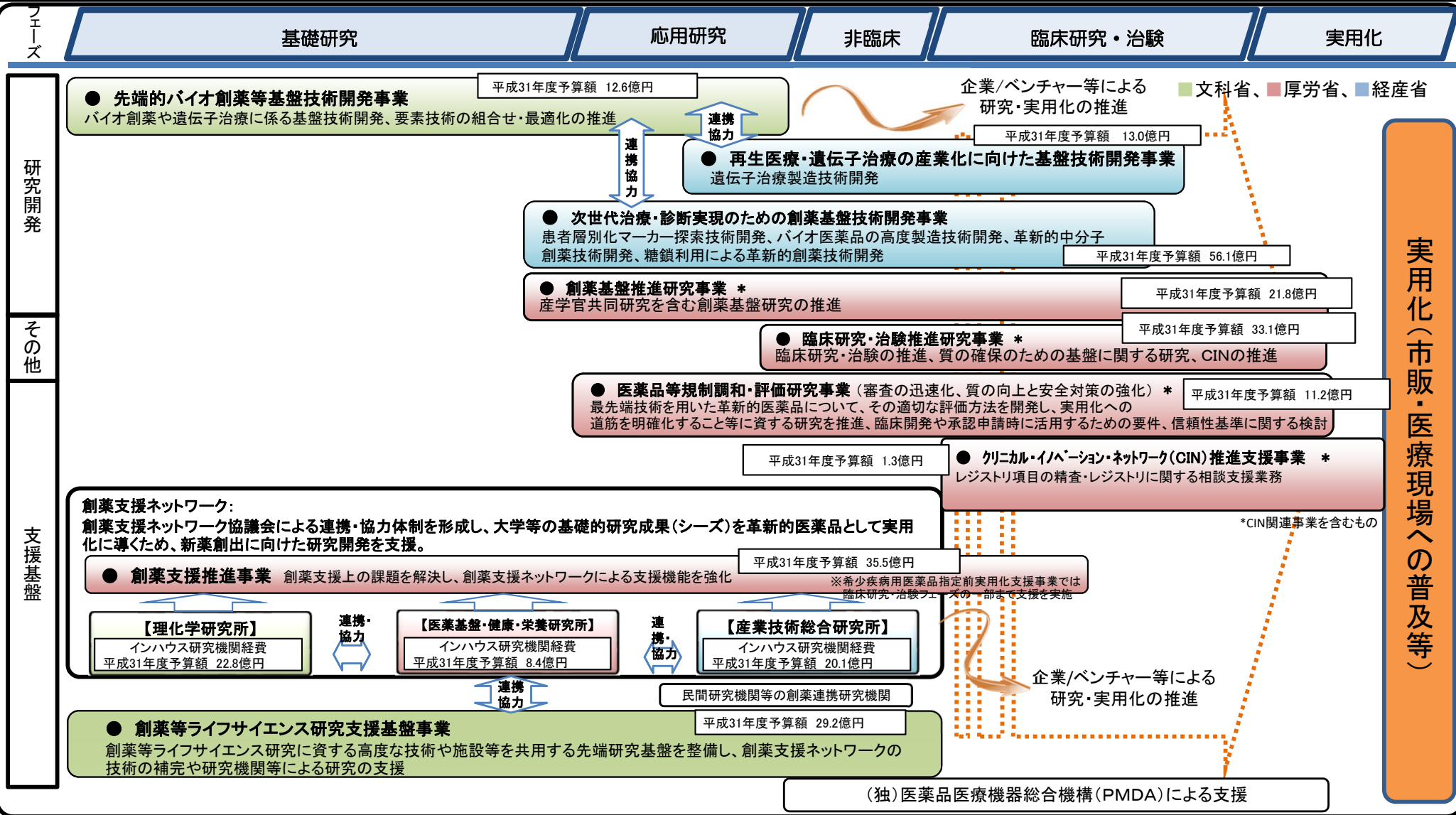
平成31年3月25日

1. オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト

日本医療研究開発機構対象経費
平成31年度予算額 214億円

インハウス研究機関経費
平成31年度予算額 51億円

創薬支援ネットワークの構築により、大学や産業界と連携しながら、新薬創出に向けた研究開発を支援するとともに、創薬支援のための基盤強化を図る。また、創薬ターゲットの同定に係る研究、創薬の基盤となる技術開発、医療技術の実用化に係る研究を推進し、革新的医薬品及び希少疾患治療薬等の開発を支援する。

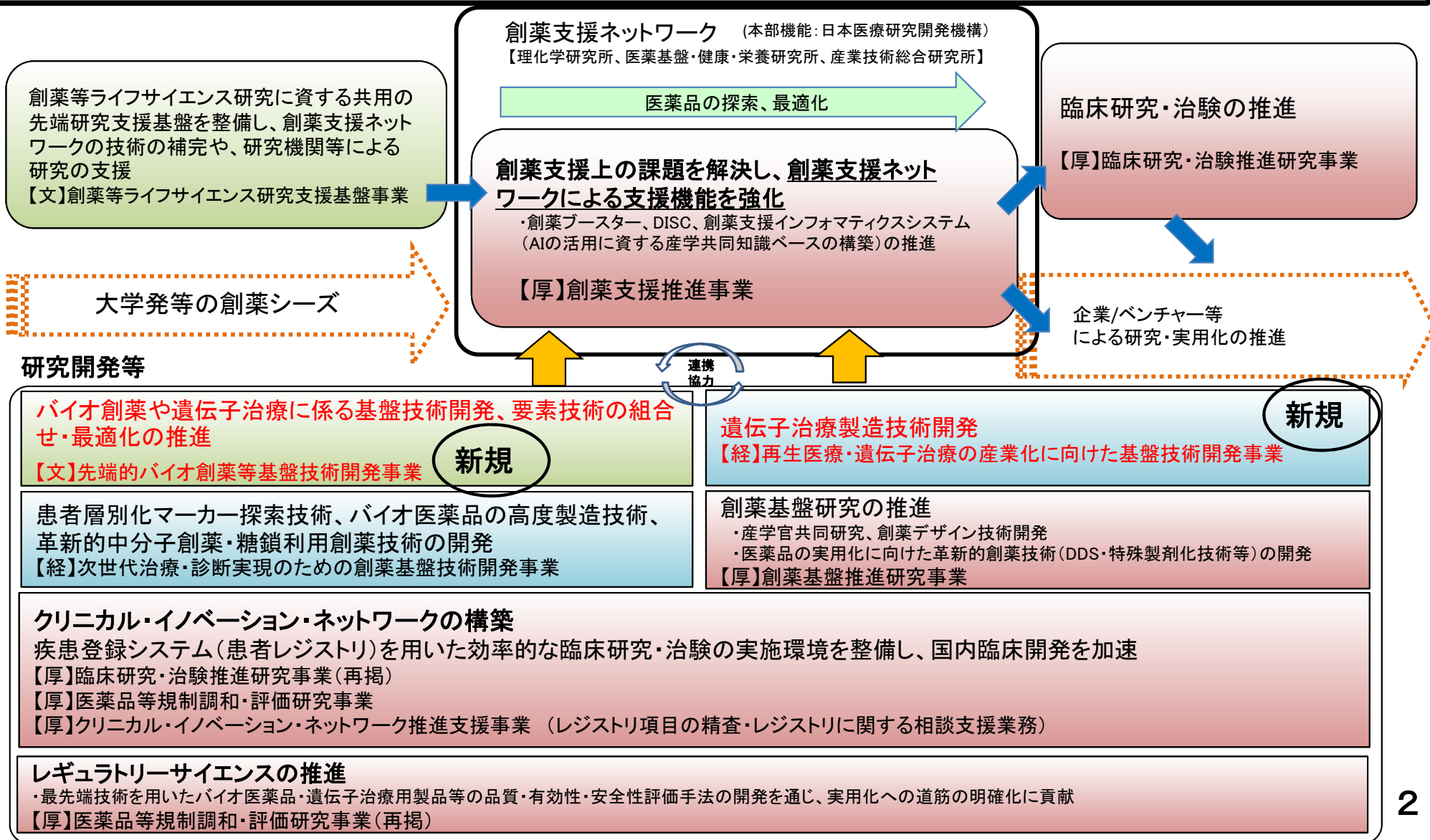


【2020年までの達成目標】

- 相談・シーズ評価 1500件
- 有望シーズへの創薬支援 200件
- 企業への導出(ライセンスアウト) 5件
- 創薬ターゲットの同定 10件

1. オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト 平成31年度予算のポイント

「革新的医薬品創出に向けた研究開発の充実を図るとともに、創薬標的やモダリティの多様化に対応するための開発環境等を整備する」
 ○創薬技術基盤の構築や臨床的・イノベーション・ネットワーク(CIN)のレジストリ情報やリアルワールドデータ(RWデータ)の利活用を促進することにより、創薬支援ネットワークやアカデミア・製薬企業等がこれら技術等を活用して、効率的に革新的医薬品を創出する環境の整備・醸成を図ることとする。
 ○具体的には、医薬品候補となるモダリティを更に拡充するため、バイオ創薬や遺伝子治療の基盤技術開発、要素技術の組合せ・最適化の推進、中分子創薬の加速化に資する技術の革新や評価手法の整備、抗体医薬品の標的特異性等を維持しつつ低分子化するための創薬デザイン技術の革新、患者層別化マーカー探索技術開発などを推進することで、総合的な創薬基盤構築を目指し革新的な医薬品の創出を実現する。



平成31年度予算概算要求のうち 創薬支援ネットワーク関連予算の姿 ^{※1、2}

(単位：億円)

区 分	平成31年度 要求・要望額		平成31年度 予算案	
	要求額	要望額		
日本医療研究開発機構対象経費				
創薬支援推進事業	38.2	31.7	6.5	35.5
インハウス研究機関経費				
理化学研究所	28.4	20.4	8.0	22.8
医薬基盤・健康・栄養研究所	10.4	5.8	4.6	8.4
産業技術総合研究所	20.1	20.1	—	20.1
総計	97.0	77.9	19.1	86.7

【参考】 平成30年度 当初予算額	【参考】 平成29年度 当初予算額	【参考】 平成28年度 当初予算額
35.2	35.2	34.0
23.3	26.5	18.3
8.4	6.7	5.1
20.1	20.6	19.8
87.0	89.1	77.2

※1: 創薬支援ネットワーク以外の創薬関連経費を一部含む

※2: 計数については、それぞれ四捨五入をしているので、端数が合計と合致しないものがある